

令和7年11月28日  
北海道開発局**「わが村は美しく－北海道」運動 景観ワークショップを開催！****～高校生と魅力ある農村景観を考える～**

北海道開発局が推進している「わが村は美しく－北海道」運動の一環として、次世代を担う農業高校生を対象として、貴重な地域資源の一つである農村景観について理解を深めることを目的に、景観ワークショップを開催します。

北海道開発局は、道内の農山漁村の活性化に貢献する住民主体の活動を支援し地域の発展に資するため、「わが村は美しく－北海道」運動を推進しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の3つの柱である「景観」について、次世代を担う農業高校生に、農業農村の営みによって形成される身近な農村景観が貴重な地域資源であるとの理解を深めてもらうために、下記のとおり景観ワークショップを開催します。

## 記

【開催期間】 令和7年12月 4日（木）13：20～15：10  
令和7年12月 5日（金） 8：45～10：35

【開催場所】 帯広農業高等学校

【開催内容】 ワークショップ1日目（令和7年12月4日）  
・ 景観講義及び景観ワークショップ  
ワークショップ2日目（令和7年12月5日）  
・ 景観ワークショップ及び成果発表

【申込方法】 取材を希望される報道関係者の方は、12月3日（水）12：00までに、  
【別紙3】取材申込書に必要事項を記入の上、電子メールまたはFAXにて  
お申し込み願います。

## &lt;添付資料&gt;

【別紙1】：令和7年度「わが村は美しく－北海道」運動 景観ワークショップについて

【別紙2】：「わが村は美しく－北海道」運動とは？

【別紙3】：取材申込書

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g7000000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html)



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 千葉 清人（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第2係長 田場 一矢（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



## 令和7年度「わが村は美しく-北海道」運動 景観ワークショップについて ＜帯広農業高校＞

### 1. テーマ

魅力ある農業・農村景観を考える

### 2. 本年度の概要

- ・帯広農業高校と帯広開発建設部帯広農業事務所との教育支援パートナーシップを活用し、景観に関するワークショップを開催。
- ・1・2時限目及び5・6時限目の授業時間を2回(計4コマ)利用。【12/4(木)、12/5(金)】
- ・帯広農業高校農業土木工学科の2年生(計)33名が参加。

### 3. 景観ワークショップの流れ

#### (1) 生徒各自の事前準備

- ・「十勝らしい景観」をテーマに生徒各自が景観写真を撮影する。

#### (2) 1日目：12/4(木) 5～6時間目<13:20～15:10>

##### 1) 景観講義(5時間目)

◆講師：NPO法人「わが村は美しく-北海道ネットワーク」理事長 中井和子氏

##### 2) ワークショップ(6時間目)

テーマ：「私たちの選ぶ十勝の○○○○景観」

目的：マップの作成を通じて、次世代を担う農業高校生に、北海道の農林水産業の基盤形成の歴史や文化、農山漁村の営みによって形成される農村景観が貴重な地域資源であるとの理解を深めてもらうことを目的とします。

#### (3) 2日目：12/5(金) 1～2時間目<8:45～10:35>

##### 1) ワークショップ(1時間目)

- ・前回のつづき

##### 2) 成果発表(2時間目)

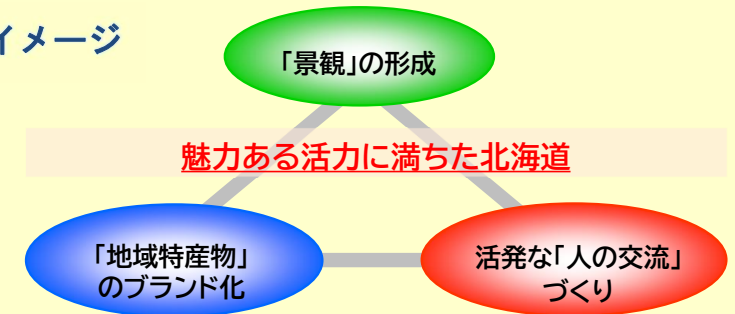
- ・ワークショップの結果を、班ごとに発表する。

○「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより「豊かに」、農山漁村がより「美しく」なることをめざし、平成13年度にスタートしました。

○ その活動のひとつとしてコンクールを開催し、道内各地で地域の魅力と活力を高めている地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信しています。

○ 令和5年～令和6年度に、第11回コンクールを実施。

## ◆運動のイメージ



## 「わが村」運動としての取組と成果

### 第11回コンクール(R5～R6)

#### 大 賞（北海道開発局長表彰）

##### にじいろファーム【七飯町】

家庭菜園をきっかけに農業に魅力を感じ、令和2年に新規就農しました。地元の会員農家30軒と協力して野菜のほか、山菜、果物など約150種類を販売する直売所を運営しています。

また、次世代の若者達に農業のすばらしさ、楽しさを伝えるため、修学旅行生の農業体験や、地元中学生の職場体験も実施しています。



国道5号沿いの直売所

##### 美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみだい【積丹町】

積丹町の特産品であるウニの安定生産のため、ウニの餌となるホソメコンブの藻場再生に取り組んでいます。ウニ殻を施肥材として利用することで藻場が再生され、ウニの生産量と品質が向上するなど、ウニと藻場の循環型再生産を実践しています。

また、漁業と海洋環境保全の理解増進のため、小学生の体験学習や市民を対象としたセミナーを行っています。



ウニ殻の施肥により再生された藻場

### 「わが村」運動参加団体の活動支援

○各種媒体でわが村団体の情報を発信



「The JR Hokkaido デジタル版」の関連サイト

○北海道開発局ホームページ、SNS、メールマガジン等による情報発信



Facebook



コラム

### 「わが村」運動を広く伝える取組

○パネル展等によるPR活動



パネル展と参加団体による地域特産品販売会（チカホ）

○若い世代への働きかけ



景観ワークショップ  
（岩見沢農業高等学校）

&lt;取材申込先&gt;

北海道開発局 農業水産部 農業振興課 宛(E-mail) hkd-ky-wagamura. u@gxb. mlit. go. jp(FAX) 011-709-2145

## 取 材 申 込 書

「わが村は美しく-北海道」運動 景観ワークショップの取材を希望する報道関係者の方は、本様式を用いて上記宛先までメールまたはFAXでお申し込みください。

申込締切は、12月3日(水) 12:00です。

■会社名及び部署名
■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）  ①（代表者） _____  ② _____  ③ _____
■代表者の連絡先
■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）  有 ・ 無

※ご記入いただいた個人情報については、景観ワークショップに関する連絡以外では使用しません。